



介護で変わる! 私たちが変わる!!

『介護福祉士』をめざすなら、
確かな知識や技術が身につく、全国の養成学校へ。

すべての人が住み慣れた地域で自分らしく暮らせる社会のために、介護の中核的役割を担う体系的な教育を受けた介護福祉士が求められています。

介護は日本の社会に 欠かせない仕事



すべての人が住み慣れた地域で人生の最後まで自分らしく暮らせるよう「地域包括ケアシステム」の構築が進められています。

介護人材の確保は欠かせません。

養成学校からは、すでに33万人を超える卒業生が巣立っています。

彼らは介護福祉士として、介護を必要とする方だけでなく、その家族や地域をサポートしています。



介護福祉士の仕事

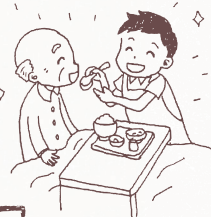
介護福祉士は、おもに特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、在宅介護事業所等で介護職員として働いています。介護に関するさまざまな相談にも対応しています。

生活支援

相談・助言

社会活動支援

身体介護



介護の仕事にある3つの大きな魅力

深さ

広さ

楽しさ

学んだ知識と技術に基づいて高齢者や障害のある方の尊厳を維持し、自立を支えること。

施設や住宅、地域の中で、働き方の選択肢が多いこと、仕事としての拡がり大きいこと。

自らの考えや工夫が向かい合う相手の生活の質の向上として現れ、やりがいや喜びを感じられ、地域のまちづくりにもつながること。

介護福祉士の資格取得

- 平成29年度から、養成学校の卒業生に介護福祉士国家試験の受験資格が付与されます。
- 平成33年度末までに卒業する方は、卒業後5年間、介護福祉士として従事できます。この間に国家試験に合格するか、卒業後5年間続けて介護等の業務に従事することで、5年経過後も介護福祉士資格を保持できます。
- 平成34年度以降は、すべての方が国家試験に合格して介護福祉士資格を取得することになります。

養成学校での学びと経験が現場で役立つ

介護福祉士の仕事が自分に合っていると感じて養成学校に進学し、実習を通して、利用者さんの気持ちに気付くことができました。現在は一人ひとりのもつ悩みに対して、よりよい解決策を見出していくのが私の役目です。日々やりがいを感じられる介護福祉士の仕事は、自分を成長させてくれるものです。



生活相談員 / 介護福祉士歴 5年 高松 健人

介護福祉士養成学校が期待される理由は？

修学資金貸付制度 養成学校で学ぶ学生を応援

2年間で164万円の修学支援

卒業後原則として5年間の介護業務に従事することにより、返還が免除になります。

※各都道府県により内容が異なる場合があります。
※国家試験受験対策費用を含む。

卒業後5年間の
介護業務に従事

全額返還免除

高い求人倍率

高齢化社会を支える専門職ニース

介護の仕事は景気に左右されず、長期安定的に働き続けられる仕事です。団塊の世代が全て75歳以上となる平成37年には250万人の介護職員が必要とされています。



給与水準向上の取り組み

日本の福祉に対する対策は急務です。福祉の向上のためにも、確かな知識と技術をもった介護福祉士の確保のため、給与水準向上の取り組みが行われています。

月額
賃金UP
を目指して！

将来の選択肢とキャリアアップ

介護の仕事では、魅力ある将来に向けてキャリアアップを目指せます。介護福祉士を経て、管理職・施設長や施設経営者、養成学校教員など、将来の人生設計も可能な職種です。また、今後高度化・多様化する介護ニーズにしっかりと対応するため、職能団体による認定介護福祉士や、当協会による(仮称)管理介護福祉士の検討が進められています。